2026 年 11 月 6 日

各　　位

# 全世界株式の成長は、一直線ではない
# ～足元の相場環境と長期投資について～



三菱UFJアセットマネジメント株式会社
執行役員　マーケティング部門　企画ライン長
礒江　功

昨夜の米国株式市場では、AI 関連株を中心に大きく下落するなど、足元では市場の変動が大きくなっています。こうした相場環境も踏まえ、今回は全世界株式の過去の値動きを振り返りながら、長期投資について改めて考えてみたいと思います。

2026 年 10 月 30 日、私たちは「eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）〈愛称：オルカン〉」（以下、オルカン）の誕生を記念して、「オルカン生誕祭」を開催しました。当日はファンドマネジャーが、この 1 年のオルカンの歩みや基準価額の動きを振り返り、日々の運用等に関する皆さまからのご質問にお答えしました。配信をご覧いただいた皆さまには、この場を借りて御礼申し上げます。

毎月のつみたて投資を続けていても、なかなか資産が増えない。そんなとき、「投資を続けていてよいのだろうか」と不安になるのは自然なことだと思います。こうしたときだからこそ、目先の値動きだけではなく、少し長い時間軸で相場を見ることも大切ではないでしょうか。

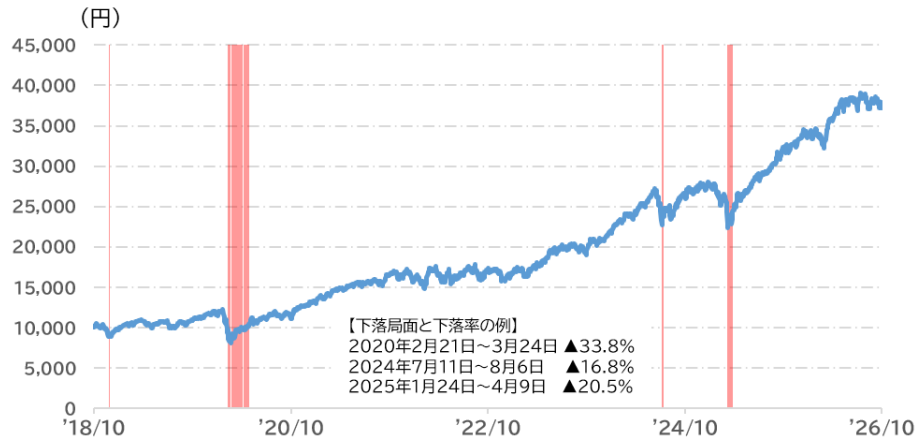
## ■全世界株式の値動きには、どのような特徴があるのか

オルカンは設定以来、基準価額が大きく上昇してきました。しかし、その途中では何度も大きな下落を経験しています。例えば、2020 年のコロナショックでは、わずか 1 カ月余りで基準価額が約 34%下落しました。その後も、2024 年夏には約 17%、2025 年春先にかけては約 21%の下落を経験しています。オルカンは日本を含む世界の株式に幅広く分散投資していますが、投資対象は株式です。原則として為替ヘッジを行っていないため、株価の下落や円高によって基準価額が大きく下落することもあります。長期投資を考えるうえでは、まずこうした値動きがあることを理解しておく必要があると思います。

※各下落率は、各下落局面における基準価額の直近最高値から安値までの下落率です。

**オルカンの基準価額の推移（直近最高値から 15%以上下落を網掛け）**

（期間：2018 年 10 月 31 日（当ファンド設定日）～2026 年 10 月 30 日、日次）




※上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
※基準価額は、1 万口当たりであり、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。信託報酬率は、後記のリンク先「費用」をご確認ください。

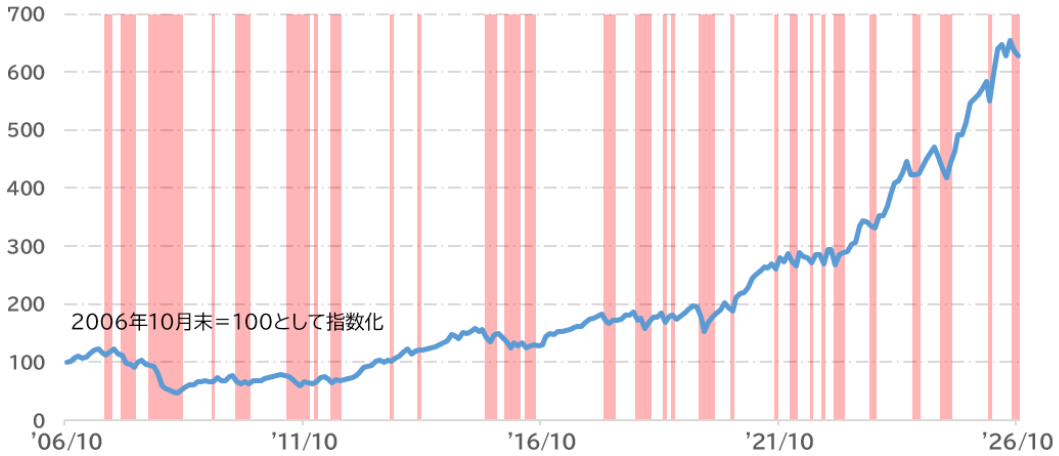
※上記は作成日時点での個人の見解です。将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

もう一つ、知っておいていただきたいことがあります。それは、全世界株式は短い期間で見ると、必ずしも順調に上昇しているわけではないということです。オルカンが連動をめざす MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、世界の株式市場の値動きを表す指数です。全世界株式は長期的には成長してきましたが、その過程では、大きな下落には至らないまでも、一定期間にわたり上昇しない局面が繰り返し見られました。例えば、2006 年 10 月末から 2026 年 10 月末の全世界株式について、各月末時点の過去 3 カ月間のリターンを調べると、リターンが 0%以下となった月は全体の約 31%を占めました。

長期の株価チャートを見ると、全世界株式は長期的に成長してきたように見えます。しかし、実際に投資をしていた方にとっては、資産の増加を実感しにくい時期も少なくなかったと考えられます。

**全世界株式のパフォーマンス推移（過去 3 カ月のリターンが 0%以下の期間を網掛け）**

（期間：2006 年 10 月 31 日～2026 年 10 月 30 日、月次）



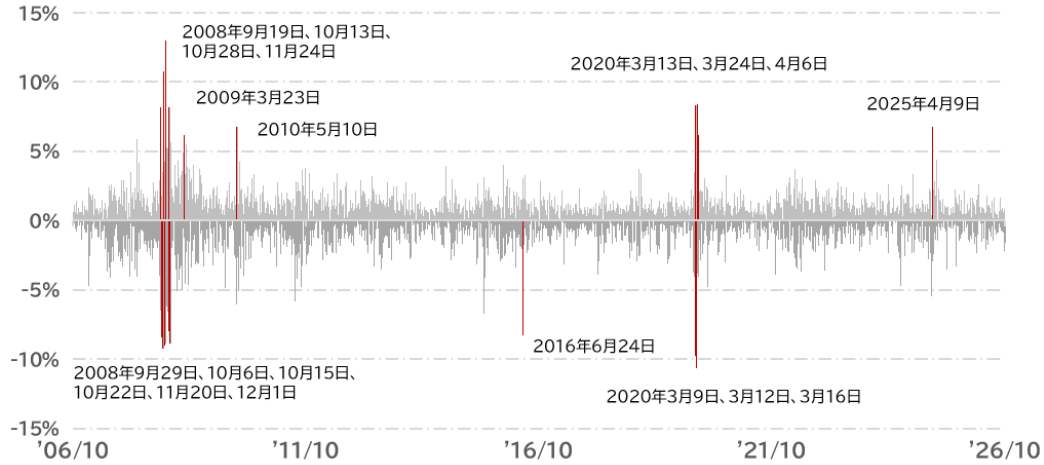

出所：Bloomberg のデータをもとに三菱UFJアセットマネジメントが作成
※全世界株式は MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み・米ドルベース）の指数を使用しており、三菱UFJアセットマネジメントが円換算しています。上記は、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については後記の「当資料で使用している指数について」をご覧ください。
※上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
※対象 241 カ月のうち、過去 3 カ月間のリターンが 0%以下となった月は 74 カ月です。

## ■大きな上昇は、いつ訪れるのか

相場がいつ下落し、いつ上昇するのかを事前に予測することは容易ではありません。実際、全世界株式の過去の値動きを見ると、上昇率の大きい日と下落率の大きい日は、市場の変動が大きい局面に集中する傾向が見られます。

**全世界株式の日次リターンの推移（日次リターン上位 10 日、下位 10 日を赤色で表示）**

（期間：2006 年 10 月 31 日～2026 年 10 月 30 日、日次）



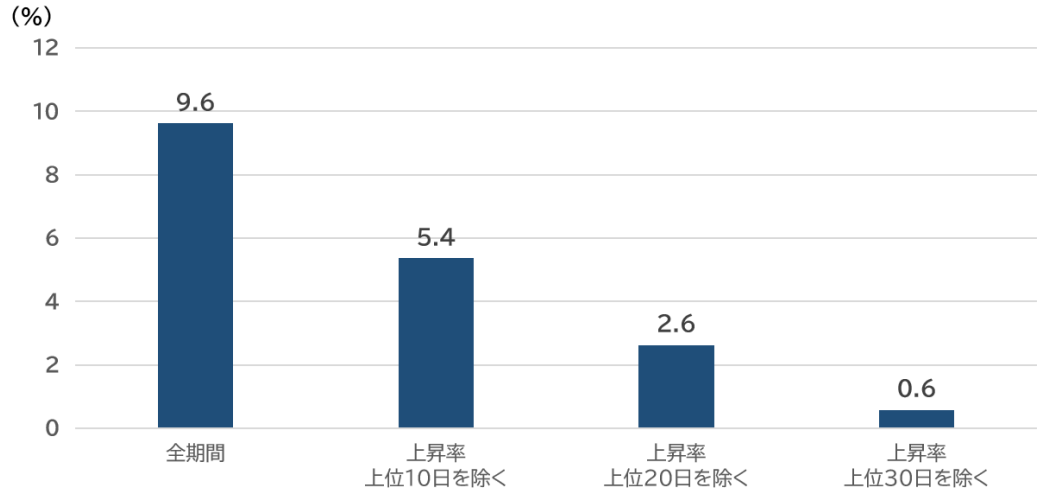

出所：Bloomberg のデータをもとに三菱UFJアセットマネジメントが作成。グラフ中の日付は、日次リターン上位 10 日および下位 10 日に該当した日。
※全世界株式は MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み・米ドルベース）の指数を使用しており、三菱UFJアセットマネジメントが円換算しています。上記は、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については後記の「当資料で使用している指数について」をご覧ください。
※上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

相場が大きく下落したときに不安を感じるのは自然な感情です。しかし、相場が不安定な時期には、大きく下落する日だけでなく、大きく上昇する日もあります。もし、下落を避けようとして市場から離れている間に相場が大きく上昇した場合、その上昇局面も逃してしまう可能性があるということです。これは、以前からご紹介している相場の上昇率が特に大きい日を逃すことが、長期的な投資成果に影響し得るという「稲妻が輝く瞬間」の考え方にもつながります。

過去の全世界株式のリターンについて、上昇率の大きかった一部の日を除いて計算すると、長期的な投資成果に大きな差が生じることが分かります。

**【ご参考】上昇率の大きかった日を除いた全世界株式の年率リターン**

（期間：2006 年 10 月 31 日～2026 年 10 月 30 日、日次）




出所：Bloomberg のデータをもとに三菱UFJアセットマネジメントが作成
※全世界株式は MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み・米ドルベース）の指数を使用しており、三菱UFJアセットマネジメントが円換算しています。上記は、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については後記の「当資料で使用している指数について」をご覧ください。
※上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
※計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。
※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

もちろん、これは過去の上昇日を事後的に除いたシミュレーションであり、実際にその日だけを避けて売買できるわけではありません。ただ、大きく上昇する日がいつ訪れるかを事前に知ることはできません。相場が落ち着いてから投資を再開しようと思っても、そのときにはすでに大きく上昇しているかもしれません。短期的な相場の動きを見極めながら売買することの難しさを示す一つの例といえるでしょう。

## ■長期投資について、改めて考える

数カ月という期間で見れば、全世界株式が上昇しなかった時期は過去にもありました。一方で、大きな上昇がいつ訪れるのかを予測することも難しいものです。こうしたことを考えると、長期投資では、目先の値動きだけで投資判断をするのではなく、当初の投資目的や投資期間を大切にすることが重要だと思います。もちろん、投資ですから値下がりすることもありますし、長期にわたって低迷する可能性もあります。どのような状況でも投資を続けることがすべての方にとって適切とは限りません。

ただ、10 年、20 年といった先を見据えて始めた投資であれば、数カ月の基準価額の動きだけで、投資方針をすぐに見直す必要はないかもしれません。長期投資は、毎月少しずつ利益が積み上がることを約束するものではありません。上がる時期もあれば、上がらない時期もある。そうした値動きがあることを理解したうえで、長い目で資産形成に取り組むことが大切だと考えています。

私たちは運用会社として、相場が好調なときだけでなく、思うように上がらないときにも、皆さまがご自身の投資目的や期間に沿って長期投資に取り組めるよう、投資判断に役立つ情報をお届けしていきたいと考えています。

■当資料で使用している指数について
・MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス：
MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべて MSCI Inc.に帰属します。

**【弊社 SNS・コミュニティサイトのご紹介】**

弊社では、SNS やコミュニティサイトを通じて、ファンド関連情報をはじめ、さまざまな情報を発信しております。
これからも皆さまの長期投資の一助となるような情報を随時発信していきますので、ぜひご登録いただけますと幸いです。

YouTube チャンネル
投信オンエア

eMAXIS LINE
公式アカウント

X 公式アカウント

コミュニティサイト
オルカンカフェ

※二次元コードを読み取りまたはクリックするとリンク先に遷移します。

三菱UFJアセットマネジメントは、商品開発力と運用力のさらなる向上に努め、お客さまの多様なニーズにお応えするとともに、信頼される資産運用会社をめざしてまいります。また、X や LINE、YouTube などのデジタルツールを活用した情報発信に加え、投資家の皆さまとの対話を通じて、皆さまにとって身近で親しみやすい存在となるよう努めてまいります。引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

投資信託にはリスク（投資元本を割り込むおそれ）があり、購入にあたっては手数料等その他の費用がかかります。
詳細につきましては、以下のリンク先をご確認ください。
■eMAXIS Slimについては[こちら]
■eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）〈愛称：オルカン〉の[リスク・費用]

**【当資料のご利用にあたっての注意事項等】**

■当資料は、長期投資に関する情報提供を目的として三菱UFJアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
■当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
■当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

販売会社は、下記の三菱UFJアセットマネジメントの照会先でご確認いただけます。
〈ホームページアドレス〉https://www.am.mufg.jp/
〈お客さま専用フリーダイヤル〉0120-151034 （受付時間/9:00～17:00(土・日・祝日・12 月 31 日～1 月 3 日を除く)）

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社
東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 404 号
加入協会 一般社団法人資産運用業協会